

第 2 次ちば文化振興計画 平成 28 年度実施計画

＜基本的な考え方＞

「第 2 次ちば文化振興計画」では、基本目標、5 つの施策の柱、20 の施策の展開及び指標を次のとおり定めました。

基本目標	施策の柱	施策の展開
ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティの醸成でつくる心豊かな県民生活と活力ある千葉県	1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり ～あらゆる人々が文化芸術を享受するために～	① 県民の自主的な文化芸術活動の促進 ② 様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供 ③ 子どもたちの文化芸術活動の充実 ④ 高齢者・障害者等の文化芸術活動の充実
	2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり ～あらゆる地域で地域文化が息づくために～	⑤ 伝統文化にふれる機会の提供 ⑥ 伝統文化の保存・継承、担い手の育成 ⑦ 文化財の保存整備の支援 ⑧ 文化的景観等の保全・活用 ⑨ 文化資源の活用と地域の活性化
	3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出 ～多様な「ちば文化」の魅力を引き出し、発信するために～	⑩ 多様な文化の発展 ⑪ 「ちば文化」の魅力を発掘と情報の収集・提供 ⑫ 「ちば文化」の魅力を発信する文化事業の充実
	4 総合的な推進のための支援・連携体制の構築 ～「ちば文化」を支えるひとを育て、つなぐために～	⑬ 「ちば文化」を担うひとづくりの推進 ⑭ 文化のネットワークの構築 ⑮ 多様な支援体制の構築 ⑯ 文化発信拠点としての文化施設等の機能の充実
	5 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたちばの文化力向上 ～更なる発展に向けて～	⑰ 新しい文化と古くからの文化が織りなす「ちば文化」の世界への発信 ⑱ 障害者、高齢者、青少年、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる機会の創出 ⑲ 観光等様々な分野との連携による文化資源の活用 ⑳ 文化プログラム関連イベントの実施により得られた資源の活用

指標	現状 (平成 26 年度)	目標 (平成 32 年度)
この 1 年間に文化芸術にふれた県民の割合	65.4%	70.0%

<柱ごとの施策の展開>

1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり
～あらゆる人々が文化芸術を享受するために～

文化芸術活動の機会を提供し、文化芸術活動の裾野を広げることで、文化芸術の創造活動が盛んになることが期待されます。そして、活動が継続され、発展していくことで、その活動が地域の文化資源となり、宝となります。

文化芸術活動を行う人々の自主性や創造性が十分尊重されるとともに、いつでもどこでもだれでも等しく文化芸術にふれ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができるよう、様々な機会を提供していきます。

特に、子どもたちや高齢者及び障害者等が、文化芸術にふれ親しむことができるような機会の充実を図っていきます。

<成果指標>

目標項目	現状 (平成 22 年度)	目標 (平成 32 年度)
文化会館・美術館・博物館の入館者数	約 330 万人	増加を目指す
学校における文化芸術活動の取組事例	学校における取組事例を収集・公表します。(定性)	

①県民の自主的な文化芸術活動の促進

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
1	千葉・県民芸術祭	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	6月25日～12月11日に28行事を開催する(県域文化団体27行事及び中央行事)。	県民生活・文化課
2	千葉県勤労者美術展	勤労者が余暇を利用して創作した美術作品の発表の場を提供することによって勤労者の教養を高め文化の向上を図る。	8月30日～9月4日に県立美術館にて開催。絵画・書・写真の3部門について作品を募集し、表彰を行う。	雇用労働課
3	県立文化会館自主事業・管理運営事業	県立文化会館4館では、それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図り、文化会館を適正に管理運営する。	県民参加型ミュージカル、音楽ワークショップ、伝統文化体験事業等を実施する。	県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
4	県立美術館・博物館事業	5 館 8 施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	本県の歴史・文化・美術・自然に関する展示及び教育普及事業を実施予定。	文化財課
5	県立美術館展覧会事業	千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開、及び県内美術団体の展覧会、移動美術館を開催する。	企画展 1、移動美術館 2、常設展示 10、団体展 77 件を予定。	文化財課
6	さわやかちば県民プラザ事業	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、東関東代表校によるマーチングバンド公演、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	年間 15 回のワークショップ及び 2 回の成果発表会、東葛飾文化祭開催（6 月 4 日～26 日）などを予定。	生涯学習課
7	ちば文化交流ボックス	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	文化イベント情報は随時更新し、文化資源情報は約 3,700 件を提供予定。	県民生活・文化課

②様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
8	県立文化会館自主事業・管理運営事業 (No. 3 再掲)	県立文化会館 4 館では、それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図り、文化会館を適正に管理運営する。	県民参加型ミュージカル、音楽ワークショップ、伝統文化体験事業等を実施する。	県民生活・文化課
9	県立美術館・博物館事業 (No. 4 再掲)	5 館 8 施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	本県の歴史・文化・美術・自然に関する展示及び教育普及事業を実施予定。	文化財課
10	県立美術館展覧会事業 (No. 5 再掲)	千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開、及び県内美術団体の展覧会、移動美術館を開催する。	企画展 1、移動美術館 2、常設展示 10、団体展 77 件を予定。	文化財課
11	さわやかちば県民プラザ事業 (No. 6 再掲)	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、東関東代表校によるマーチングバンド公演、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	年間 15 回のワークショップ及び 2 回の成果発表会、東葛飾文化祭開催（6 月 4 日～26 日）などを予定。	生涯学習課
12	文書館文化事業	古文書講座・県史講座・歴史講演会、出前講座、常設展・企画展を開催する。	古文書講座（3 コース各 3 日間）、企画展 10 月 18 日～平成 29 年 3 月 11 日、歴史講演会（10 月 8 日）などを開催予定。	文書館
13	県民芸術劇場	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の公演を県内各地で行う。	管弦楽、室内管弦楽、室内楽など 23 公演を県内各地で実施予定。	県民生活・文化課
14	ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による活動	県内唯一のプロ・オーケストラであるニューフィルハーモニーオーケストラ千葉に対し、運営費の一部を補助することにより、県民に親しまれるオーケストラとして定着させるとともに、本県の音楽文化の振興に資する。	主催演奏会（3 回）の他、依頼演奏会やアウトリーチ活動を実施。	県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
15	ちば文化交流ボックス (No.7 再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	文化イベント情報は随時更新し、文化資源情報は約 3,700 件を提供予定。	県民生活・文化課
16	県立図書館事業	①県民への情報提供、図書の貸出・返却及び資料管理を的確かつ迅速に行うため、電算処理による図書館情報システムを導入し、円滑な運用を図る。 ②県民の読書や調査研究活動の支援と市町村立図書館等への協力・援助のために書籍の収集整備する。 ③子どもへの本の読み聞かせや読書の重要性について一層の理解を深めてもらうため、読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座を開催する。 ④県民が身近な市町村立図書館等を通じて県立図書館及び他の市町村立図書館の資料が利用できるよう、県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築して運用しています。また、高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを行っている。	・電算処理による図書館情報システムの運用。 ・市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に収集整備。 ・読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座開催。 ・県内公共図書館間における情報と物流のネットワークの運用。高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出し。	生涯学習課
17	千葉県上下流交流事業 水源地紹介	県内のイベントにて、八ッ場ダムの水源地である群馬県長野原町の紹介及び郷土芸能（上州應桑関所太鼓）の披露をして、千葉県民の水源地に対する理解と交流を深める。	11月12日の四街道市産業まつりにて、八ッ場ダムの水源地である群馬県長野原町の紹介及び郷土芸能の披露を行う。	水政課
18	全日本中学生水の作文コンクール	「水の日（8月1日）」の趣旨にふさわしい事業の一環として次代を担う中学生を対象に「水について考える」をメインテーマに作文コンクールを行う。	千葉県地方審査会として優秀作品を選定し、「水の日」を初日とする水の週間期間中に表彰を行う。	水政課
19	千葉県歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール	県内公立小中学校及び特別支援学校の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集し、表彰することによって、口腔保健に関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与する。	作品を募集し、7月7日に審査を実施し、10月20日に表彰する。	健康づくり支援課
20	心の輪を広げる障害者理解促進事業	障害者に対する国民の理解の促進を図るため、国民を対象に「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。	7月・8月にかけて作品を募集し、審査の上、優秀作品の表彰（11月）及び内閣府への推薦（9月）を行う。	障害福祉課
21	若年層対策 献血啓発事業	中高生から献血啓発ポスターの募集を行う。	県内中学校・高等学校に対して献血啓発ポスターの募集を行い、優秀作品を選出、表彰する。	業務課

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
22	愛鳥週間事業（千葉県愛鳥週間ポスターコンクール）	鳥獣保護思想の奨励・普及啓発を図るため、ポスターコンクールを実施する。	4 月初旬に県内の小・中・高等学校に参加の募集を行い、7 月に審査会を実施し、入選作品 58 点を選定する。8 月に表彰式を開催し、県内各地で入選作品を展示する。	自然保護課
23	千葉県環境月間ポスター作品募集	環境保全に関するポスター作品を募集し、入賞作品を表彰し公表するとともに、啓発資料等に活用する。	6 月の千葉県環境月間にちなんだポスター作品を全県から募集し、673 点の応募があった。65 作品が入賞し、このうち、特に優れた 9 作品を環境月間中にららぽーと TOKYO-BAY 及び県庁内に展示し、6 月 30 日に入賞者を招待し表彰式を行った（9 名出席）。また、翌 29 年度作品の募集、入賞選定を行う。	循環型社会推進課
24	国産花きイノベーション推進事業	生け花の展示などにより、生産技術の向上と花の魅力の発信を図る。	生け花の展示などにより、生産技術の向上と花の魅力の発信を図る。	生産振興課
25	水道週間ポスター・標語コンクール	千葉県水道局では、県民の皆様の水道へのご理解をより深めていただくために、「水の大切さ」や「くらしを支える水道水」などを呼びかける「ポスター」及び「標語」作品を募集・審査・表彰し、作品集にまとめている。	応募総数：ポスターの部 1031 点、標語の部 985 点 表彰式：6 月 1 日 （入賞者 17 名参加） 作品展示：6 月 2 日～6 日 そごう地階ギャラリー、 6 月 14 日～20 日（千葉県庁一階通路）	総務企画課
26	ギャラリー「二つ返事」	循環器病センター内のギャラリーに芸術品（絵画・書道・押し花・陶芸・写真等）を展示する。	15 団体が 2 週間～1 か月単位で芸術品の展示を行う。	循環器病センター
27	ちばアクアラインマラソン開催事業	スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用 開催年度（24 年度、26 年度、28 年度）	10 月 23 日「ちばアクアラインマラソン 2016」開催	体育課
28	県警音楽隊派遣	県民からの要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を行う。	派遣回数 154 回（派遣日数 144 日） （平成 28 年 1 月～12 月末） ※8 月末現在の予定	総務部 広報県民課
29	県警音楽隊金曜コンサート	4 月から 10 月（7～8 月を除く。）までの間の金曜日に、千葉市内で演奏を行う。	実施回数 9 回（千葉市内 4 箇所を拠点として、演奏を行う。） （4/8, 22, 5/13, 20, 6/3, 17, 9/9, 10/21, 28）	総務部 広報県民課
30	県警音楽隊定期演奏会	音楽を通じて県民との融和を図るとともに、警察広報の効果を高めるため、演奏会を行う。	11 月 12 日 午前・午後 2 回公演	総務部 広報県民課

③子どもたちの文化芸術活動の充実

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
31	若者の文化芸術活動育成支援事業	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	7団体7事業に対して実施予定。	県民生活・文化課
32	ちば文化発信プロジェクト事業	千葉県の文化に対する県民の関心を高めるため、県立美術館・博物館において特別展を開催し、小中学校新入生の保護者へ無料入場券の配付を行う。	現代産業科学館で特別展「出発進行～もっと・ずっと・ちばの鉄道～」を実施する。 新入生無料入場券約 12 万枚を配付する。	文化財課
33	子どもの読書活動の推進	「千葉県子どもの読書活動推進計画（第三次）」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	・千葉県子ども読書の集い（5月21日） ・公立図書館と学校の連携を図るための研修会（8月24日） ・子供の読書活動啓発リーフレットの作成 乳幼児向け 50,000 部、 小学生向け 55,000 部 3歳児及び小学校1年生の保護者に配付。	生涯学習課
34	次世代を担う若者への子育て講演会	近い将来子育て世代となる高校生を対象に、子育てを考える講演会を実施、音楽（ピアノやバイオリン）と語りを併せた講演を実施する。	県立高等学校において講演会を実施する。（3校スケジュール確定、他調整中。）	子育て支援課
35	県警音楽隊派遣 (No. 28 再掲)	県民からの要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を行う。	派遣回数 154 回（派遣日数 144 日） （平成 28 年 1 月～12 月末） ※8 月末現在の予定	総務部 広報県民課
36	高等学校文化連盟補助	国や県の教育施策等に基づき、高校生の文化活動の向上・発展及び普及振興を図るため、千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する。	千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する等、高校生の文化活動の支援を行う。	指導課
37	学校音楽鑑賞教室	次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による巡回公演を実施する。	県内の小・中・高校生を対象に 55 公演を実施予定。	県民生活・文化課
38	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	洋楽 4 校 伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) 各 6 校 合計 22 校で実施	県民生活・文化課
39	「授業に役立つ県立博物館」プロジェクト	県立美術館・博物館が保有する研究成果を活用した学習キットを製作し、学校等に貸出しを行い、学習活動を支援する。	前年度（学習キット運用 444 件）と同程度の学習キット運用を予定。	文化財課

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
40	出土文化財管理活用事業	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施する事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施予定。	文化財課
41	千葉県少年少女オーケストラ育成事業	(公財)千葉県文化振興財団の行う少年少女オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う少年少女の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	指導者を招へいし、練習を行い、夏と春の2回の演奏会を行う。	県民生活・文化課

④高齢者・障害者等の文化芸術活動の充実

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
42	千葉県生涯大学校管理運営事業	県内5学園の運営を通して、高齢者の社会活動を支援するための学習機会を提供するとともに、生きがい・健康・仲間づくりに資する。	県内5学園において、高齢者に学習機会を提供。	高齢者福祉課
43	千葉県福祉ふれあいプラザ管理運営事業	「介護実習センター」、「介護予防トレーニングセンター」、「ふれあいホール」の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	「ふれあいホール」等の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	高齢者福祉課
44	さわやか芸能発表会	知的障害児・者とその家族、福祉関係者等が一同に会し、知的障害児・者が日頃取り組んでいる文化活動の発表を通じて交流を深めるとともに、県民の理解と声援を得る。	12月に千葉県文化会館で発表会を開催予定。	障害福祉課
45	千葉県身体障害者作品展示会	障害者の積極的な自己表現の場を提供し、自立への大きな活力とするとともに、県民の障害者への理解を広める。	11月1日～6日に千葉県立美術館において作品展示会を開催予定。	障害福祉課
46	手をつなぐ作品展事業	肢体不自由児に対する愛護思想の普及を図るため、県内の小・中・特別支援学校に障害に関する作文・絵画を募集し、優秀作品を表彰する。また、併せて優秀作品を県庁に展示し、作品集を作成し、関係機関に配布する。	9月1日～10月15日に作品募集を行い、11月上旬に審査会・入賞者決定。12月中旬に県庁において展示。2月上旬に表彰式を行う予定。	障害福祉課
47	特別支援学校巡回コンサート	次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による巡回公演を実施する。	県内の特別支援学校13校において公演を実施予定。	県民生活・文化課
48	ギャラリー「二つ返事」(No. 26 再掲)	循環器病センター内のギャラリーに芸術品(絵画・書道・押し花・陶芸・写真等)を展示する。	15団体が2週間～1か月単位で芸術品の展示を行う。	循環器病センター
49	千葉・県民芸術祭(No. 1 再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	6月25日～12月11日に28行事を開催する(県域文化団体27行事及び中央行事)。	県民生活・文化課

2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり

～あらゆる地域で地域文化が息づくために～

郷土芸能や伝統技術、衣食住に係る文化をはじめ地域の生活に根差した伝統文化は、私たち県民の誇るべき宝です。伝統文化にふれることで、郷土への愛着をはぐくみ、アイデンティティーが醸成されます。

しかしながら、少子高齢化による担い手不足から、存続が懸念されているものもあり、後継者育成は急務となっています。

伝統文化にふれる機会を提供するとともに、担い手を育成し、次世代へ継承していくことが必要とされています。

そして、保存・継承を進めるとともに、ちばの文化資源を活用し、地域の活性化につなげていきます。

<成果指標>

目標項目	現状 (平成 26 年度)	目標 (平成 32 年度)
県立文化会館・美術館・博物館における伝統文化体験事業の参加者数	約 3,500 人	増加を目指す
市町村等における文化資源を活用した取組事例	市町村等における文化資源を活用した取組事例を収集・公表します。(定性)	

⑤伝統文化にふれる機会の提供

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
50	房総の郷土芸能	県内の獅子舞や神楽等の民俗芸能の公開事業。	12 月 3 日に市原市市民会館で「房総の郷土芸能 2016」を実施予定。	文化財課
51	房総のむら事業	古代から近代までの伝統的生活様式や技術を体験的に学ぶ博物館の指定管理委託事業。	イベント、展示会、体験事業を予定。	文化財課
52	郷土食体験事業	関宿城博物館における「鷹菜漬け」「そば打ち」などの体験事業。	6 事業を予定。	文化財課
53	ちばの食育活動促進事業	市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方々も含まれている。	①啓発リーフレットの作成、配付 (90,000 枚) ②地域食育活動交換会の開催 10 回 ③ちば食育ボランティア研修会 2 回 ④食育活動事例集の作成 (1,000 部)	安全農業推進課
54	水産物消費・食育対策事業	おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	学校等で開催する魚料理教室に「おさかな普及員」を派遣し、食育・魚食普及を推進する。	水産課

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
55	伝統的工芸品産業振興事業	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組みを行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧や動画を掲載したホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわが振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県指定伝統的工芸品一覧の作成 関東ブロック伝統的工芸品展への参加 千葉県指定伝統的工芸品展の開催 	観光企画課

⑥伝統文化の保存・継承、担い手の育成

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
56	房総の郷土芸能 (No. 50 再掲)	県内の獅子舞や神楽等の民俗芸能の公開事業。	12月3日に市原市市民会館で「房総の郷土芸能2016」を実施予定。	文化財課
57	千葉県無形民俗文化財連絡協議会	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	映像記録作成等の事業を実施予定。	文化財課
58	郷土食体験事業 (No. 52 再掲)	関宿城博物館における「鷹菜漬け」「そば打ち」などの体験事業。	6事業を予定。	文化財課
59	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業	植木伝統樹芸士・銘木 100 選の選定や花植木の消費拡大・販売促進などを行う。	植木伝統樹芸士・銘木 100 選を認定し、花植木の消費拡大・販売促進を図る	生産振興課
60	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 (No. 38 再掲)	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	伝統芸能については、能楽・雅楽・三曲を各 6 校合計 18 校で実施。	県民生活・文化課
61	伝統的工芸品産業振興事業 (No. 55 再掲)	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組みを行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧や動画を掲載したホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわが振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展等への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県指定伝統的工芸品一覧の作成 千葉市の実施する後継者養成事業に助成 房州うちわ振興協議会が振興計画に基づき実施する事業に助成 	観光企画課

⑦文化財の保存整備の支援

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
62	文化財保護審議会	文化財指定のための調査・審議、諮問に対する答申、既指定文化財の保存状況調査、保存管理に係る指導助言を行う。	文化財調査の報告・審議・指導助言及び調査対象文化財の選定等を実施予定。	文化財課
63	指定候補文化財等調査事業	千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う事業。	文化財保存状況等の調査を実施予定。	文化財課
64	文化財保存整備助成事業	国及び県指定文化財の所有者が行う保存修理等に係る助成事業。	国指定文化財 6 件、県指定文化財 7 件の保存整備事業を実施予定。	文化財課
65	文化財管理助成事業	国指定文化財の防災設備点検等の所有者や管理者が行う維持管理事業に係る助成事業。	国指定文化財 17 件の日常管理及び修理を実施予定。	文化財課
66	史跡等購入助成事業	史跡を保存活用するために市町村が行う公有化の助成事業。	史跡購入に係る先行取得償還 1 件、直接買上げ 2 件を実施予定。	文化財課
67	無形民俗文化財保存伝承事業	無形民俗文化財の保存継承を図るため、衣装の新調や楽器の修理、新調等に対する助成事業。	県指定無形民俗文化財 3 件に対する補助を実施予定。	文化財課
68	重要遺跡確認調査	県内に所在する重要遺跡について測量調査等を実施。 重要な出土品を長期にわたり安定した状態で保存するために、金属製品等の保存処理を実施。	南房総市正文寺やぐら群の測量調査を実施予定。 縄文時代集落・貝塚等を対象として重要遺跡の詳細分布調査を実施予定。	文化財課
69	埋蔵文化財緊急調査助成	土地区画整理事業、個人住宅建設等に伴う発掘調査費の助成事業。	25 市町に対する発掘調査等の助成を予定。	文化財課
70	不特定遺跡発掘調査助成	個人専用住宅、小規模農地造成等において事業者が個人で緊急性の高い事業の発掘調査費の助成事業。	5 市合計 10 件程度の発掘調査等に対して助成を予定。	文化財課
71	出土文化財管理活用事業 (No. 40 再掲)	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施する事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施予定。	文化財課
72	発掘調査現地説明会	地域の歴史や文化への関心や理解を促すため、発掘調査中の遺跡の状況や成果を公開する事業。	発掘調査中の遺跡及び周辺文化財の見学会を実施予定。	文化財課

⑧文化的景観等の保全・活用

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
73	文化財探検隊	文化財をとおして郷土の自然と歴史、文化等に関して理解を深め、文化財保護の大切さを知る見学会。	我孫子市「旧我孫子宿から白樺派文人旧居、古墳をめぐる」、銚子市「銚子磯めぐり」、印西市「大仏師賢光の足跡を訪ねて」を実施予定。	文化財課
74	景観セミナー	良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及を図るため、県民等を対象として、県内各地で景観セミナーや研修会等を開催する。	景観セミナー及びフォーラムを4回実施 ①第1回景観セミナー(成田市)7月23日「江戸を感じる北総の町並み」 ②第2回景観セミナー(船橋市)11月中旬「(仮)景観と屋外広告物」 ③景観まちづくりフォーラム(市原市)H29年2月上旬「(仮)歴史と文化、自然の融合」 ④第3回景観セミナー(詳細は未定)	公園緑地課

⑨文化資源の活用と地域の活性化

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
75	ちば文化交流ボックス (No.7 再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	文化イベント情報は随時更新し、文化資源情報は約3,700件を提供予定。	県民生活・文化課
76	歴史の里の音楽祭等 (県民芸術劇場)	重要文化財旧学習院初等科正堂において室内音楽を演奏・公開する事業。	2回の事業を予定。	文化財課
77	千葉県フィルムコミッション運営事業	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等 (4)映画、テレビ番組の誘致のための補助金に係る広報、申請受付、ロケ同行等	映像制作関係者への撮影支援・ホームページ等による広報活動などの業務を、千葉県フィルムコミッション(H14年度設立。ちば国際コンベンションビュロー内)に委託して実施する。 映画・テレビ等撮影支援事業補助制度を活用したロケーション誘致、およびロケツーリズム促進に向けたロケ地マップの作成等を実施する。	観光誘致促進課

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
78	観光イベントブック 「ちばの旅」作成事業	本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	2か月に1回（年6回）、千葉県内の旬の観光・レジャー情報が掲載された「ちばの旅」を県民等向けに発行する。季節に応じた旬の特集や、夏・秋・早春の観光キャンペーンの情報も適宜掲載を検討する。 ※配布先：道の駅、ホテル・旅館、地方銀行各支店、県立博物館・美術館等	観光誘致促進課
79	日本遺産魅力発信推進事業	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。今年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や普及啓発などの事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信、人材育成事業（パンフレットの作成、プロモーションビデオの制作など） ・普及啓発事業（シンポジウムの開催など） ・公開活用のための整備に係る事業（案内板の設置） 	文化財課

3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出

～多様な「ちば文化」の魅力を引き出し、発信するために～

多様な文化芸術の発展が、新たな「ちば文化」の創造であり、ちばの文化資源です。この地域の文化資源、「ちば文化」の魅力を発信することは、地域の魅力を再認識するきっかけとなります。

また、これまでの文化の概念にとらわれない新たな創造活動の魅力を引き出し、県内外に発信し、ちばをもっと知ってもらうことで、県民の地域文化に関する情報提供を求める声に応えるとともに、地域への愛着を深める機会としていきます。

<成果指標>

目標項目	現状 (過去5年間の平均値)	目標 (平成 32 年度)
「ちば文化交流ボックス」へのアクセス件数	約 20 万件	増加を目指す
多様な文化や創造活動への市町村等の取組事例	多様な文化や創造活動への市町村等の取組事例を収集・公表します。(定性)	

⑩多様な文化の発展

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
80	若者の文化芸術活動育成支援事業 (No. 31 再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	7団体7事業に対して実施予定。	県民生活・文化課
81	県立文化会館自主事業・管理運営事業 (No. 3 再掲)	県立文化会館 4 館では、それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図り、文化会館を適正に管理運営する。	県民参加型ミュージカル、音楽ワークショップ、伝統文化体験事業等を実施する。	県民生活・文化課
82	さわやかちば県民プラザ事業 (ヤングパワームーブメント)	若者の自主的な活動を広く世間に広めていくために発表の機会を提供する。ボランティア活動・文化創作活動・体験活動を実践している県内の若者の活動の成果発表の場を提供する。	イベントを 10 月 2 日 (日) 実施予定。実行委員会を年間 11 回開催予定。	生涯学習課

⑪ 「ちば文化」の魅力の発掘と情報の収集・提供

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
83	ちば文化交流ボックス (No.7 再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	文化イベント情報は随時更新し、文化資源情報は約 3,700 件を提供予定。	県民生活・文化課
84	博物館情報システム事業	県立美術館・博物館が所蔵する資料のデータベース、デジタルミュージアムの構築と公開、情報発信事業。	美術館・博物館のホームページ、収蔵資料データベース、デジタルミュージアム等において情報発信を行う。	文化財課
85	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	国・県指定文化財及び周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報をインターネット上で公開する事業。	指定・登録文化財候補の精査及び埋蔵文化財包蔵地の更新情報の把握を行い、最新情報の登録と公開を実施予定。	文化財課

⑫ 「ちば文化」の魅力を発信する文化事業の充実

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
86	県民の日事業	県民が千葉の魅力を再発見し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	中央行事として、6月19日に幕張メッセで「県民の日ちばワクワクフェスタ 2016」を開催。 地域行事：11 件実施 賛同行事：337 件実施	県民生活・文化課
87	「地域の誇り」表現コンテスト	千葉に対する誇りと愛着を有してもらうよう、県内に居住または通学する小中学生を対象に「地域の誇り」をテーマに作文コンクールを行う。	6月募集開始 12月応募締切、12月以降作品審査、3月表彰式	政策企画課
88	国民文化祭周知・派遣	毎年、各県持ち回りで開催される国民文化祭について、県内に周知するとともに、県内団体の派遣に伴う事務をおこなう。	「第 31 回国民文化祭・あいち 2016」10月29日～12月3日、愛知県芸術劇場他において開催	県民生活・文化課

4 総合的な推進のための支援・連携体制の構築

～「ちば文化」を支えるひとを育て、つなぐために～

ひとづくり、ネットワークや支援体制の構築、文化施設の機能充実などの文化芸術を支える基盤が安定することにより、安定した文化芸術活動を行うことができ、それにより文化資源を活用し、地域活性化を図ることができます。

文化の多様化に伴い、多様な支援体制の構築、関係団体や国・市町村などとの一層の連携、さらに観光・産業等の幅広い分野との連携が必要であることから、総合的な体制を整えていきます。

また、文化振興のための体制の整備として、文化発信拠点となる文化施設の機能充実と連携強化を図ります。

<成果指標>

目標項目	現状 (平成 26 年度)	目標 (平成 32 年度)
地域との連携等を目的とした意見交換の場を設けている文化会館の割合	33.3%	50.0%
福祉・観光・産業分野等での文化芸術の活用事例	福祉・観光・産業分野等での文化芸術の活用事例を収集・公表します。(定性)	

⑬「ちば文化」を担うひとづくりの推進

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
89	公立文化施設担当者研修会	県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、文化施設の管理運営業務に関する情報提供を図る目的で、研修会を開催する。	8 月 19 日に千葉県文化会館において文化プログラムをテーマにした講演等を実施。	県民生活・文化課
90	若者の文化芸術活動育成支援事業 (No. 31 再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	7 団体 7 事業に対して実施予定。	県民生活・文化課
91	表彰の実施	千葉県において文化の振興に関し特に功績の顕著であった個人又は団体を表彰する。	文化の日千葉県功労者表彰や千葉県教育功労者表彰など。	—

⑭文化のネットワークの構築

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
92	文化活動ボランティアネットワーク	文化情報ポータルサイト「ちば文化交流ボックス」内に「文化活動ボランティアネットワーク」のページを設け、文化活動ボランティア申込者の一覧を掲載し、文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方の両者を結びつける手助けをする。	当事業の周知を図り、登録件数を 30 件とする。	県民生活・文化課
93	千葉県芸術文化団体協議会	昭和 45 年に設立され、本県の文化芸術に係る県域・市町村団体を総括する唯一の団体。	県域芸術文化団体 24 団体 市町村文化団体 35 団体が加盟。	県民生活・文化課
94	千葉県無形民俗文化財連絡協議会 (No. 57 再掲)	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	映像記録作成等の事業を実施予定。	文化財課
95	子どもの読書活動の推進 (No. 33 再掲)	公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	公立図書館と学校の連携を図るための研修会 (8 月 24 日) の開催。	生涯学習課

⑮多様な支援体制の構築

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
96	千葉・県民芸術祭 (No. 1 再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	6 月 25 日～12 月 11 日に 28 行事を開催する (県域文化団体 27 行事及び中央行事)。	県民生活・文化課
97	文化振興事業の後援	県民の文化芸術活動を支援するため、文化芸術活動に関する公演や展覧会等の行事に対して、県・県教委後援名義の使用承認を行う。	申請があった公演等に対して、県・県教委後援名義の使用承認を行う。	県民生活・文化課 文化財課
98	ちば文化交流ボックス (No. 7 再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	文化イベント情報は随時更新し、文化資源情報は約 3,700 件を提供予定。	県民生活・文化課

⑩文化発信拠点としての文化施設等の機能の充実

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
99	県立文化会館自主事業・管理運営事業 (No. 3 再掲)	県立文化会館 4 館では、それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図り、文化会館を適正に管理運営する。	県民参加型ミュージカル、音楽ワークショップ、伝統文化体験事業等を実施する。	県民生活・文化課
100	県立美術館・博物館事業 (No. 4 再掲)	5 館 8 施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	本県の歴史・文化・美術・自然に関する展示及び教育普及事業を実施予定。	文化財課
101	千葉フィールドミュージアム事業	地域の自然や文化そのものを資料として考えた新たな博物館事業。	80 件の事業を予定。	文化財課
102	さわやかちば県民プラザ事業 (No. 6 再掲)	音楽ワークショップ、東葛飾文化祭、東関東代表校によるマーチングバンド公演、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	年間 15 回のワークショップ及び 2 回の成果発表会、東葛飾文化祭開催（6 月 4 日～26 日）などを予定。	生涯学習課
103	県立図書館事業 (No. 16 再掲)	①県民への情報提供、図書の貸出・返却及び資料管理を的確かつ迅速に行うため、電算処理による図書館情報システムを導入し、円滑な運用を図る。 ②県民の読書や調査研究活動の支援と市町村立図書館等への協力・援助のために書籍の収集整備する。 ③子どもへの本の読み聞かせや読書の重要性について一層の理解を深めてもらうため、読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座を開催する。 ④県民が身近な市町村立図書館等を通じて県立図書館及び他の市町村立図書館の資料が利用できるよう、県内公共図書館間に情報と物流のネットワークを構築して運用しています。また、高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出しを行っている。	・電算処理による図書館情報システムの運用。 ・市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に収集整備。 ・読み聞かせのボランティア活動を行う方などを対象に、子どもの本の読み聞かせについての講座開催。 ・県内公共図書館間における情報と物流のネットワークの運用。高等学校・特別支援学校には、資料搬送車や宅配便による資料の貸出し。	生涯学習課
104	文書館文化事業 (No. 12 再掲)	古文書講座・県史講座・歴史講演会、出前講座、常設展・企画展を開催する。	古文書講座（3 コース各 3 日間）、企画展 10 月 18 日～平成 29 年 3 月 11 日、歴史講演会（10 月 8 日）などを開催予定。	文書館
105	県立学校開放講座	県立学校が保有する優れた教育機能を地域に開放し、多様化、高度化及び専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資するとともに開かれた学校づくりを推進する。	19 校で 21 講座開講予定	生涯学習課
106	県立学校施設開放事業	県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行い、生涯学習関連団体等の活動支援を行う。	7 校で実施予定（文化施設 5 校、交流施設 2 校）	生涯学習課

5 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたちばの文化力向上 ～更なる発展に向けて～

東京 2020 大会の文化プログラム関連イベントを観光等様々な分野と連携して、実施することで、本県の文化的魅力を県内外に発信し、県内の文化振興及び地域活性化を図ります。

また、実施にあたり構築したネットワークやノウハウ等を資源とし、オリンピック後の本県の文化芸術活動及び地域の継続的な活性化につなげます。

<成果指標>

目標項目	現状 (平成 26 年度)	目標 (平成 32 年度)
千葉県での「文化力プロジェクト（仮称）」の認定件数	—	延べ 3,700 件
千葉県での「文化力プロジェクト（仮称）」の参加者からの「ちば文化」の魅力についての意見	参加者から「ちば文化」の魅力についての意見を収集・公表します。（定性）	

⑰新しい文化と古くからの文化が織りなす「ちば文化」の世界への発信

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
107	県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業	東京 2020 大会文化プログラムの一つとして、4 年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。	実施に向け、実施計画を策定する。	県民生活・文化課
108	メッセ周辺での事業	オリンピック・パラリンピック競技開催会場の周辺において、関係機関と連携し、文化イベントを実施する。	実施に向け、関係機関と実施計画を検討する。	県民生活・文化課

⑱障害者、高齢者、青少年、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる 機会の創出

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
109	県民の日事業 (No. 86 再掲)	県民が千葉の魅力を見直し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	中央行事として、6 月 19 日に幕張メッセで「県民の日ちばワクワクフェスタ 2016」を開催。 地域行事：11 件実施 賛同行事：337 件実施	県民生活・文化課

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
110	千葉・県民芸術祭 (No. 1 再掲)	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	6月25日～12月11日に28行事を開催する（県域文化団体27行事及び中央行事）。	県民生活・文化課
111	若者の文化芸術活動育成支援事業 (No. 80 再掲)	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	7団体7事業に対して実施予定。	県民生活・文化課
112	文化プログラムの申請	東京2020大会の機運醸成や関係機関等との新たな関係性の構築、「ちば文化」の発信等を図るため、組織委員会が行う「東京2020公認プログラム（文化プログラム）」等への申請や当該プログラムの周知を行う。	10月から「東京2020公認プログラム」が開始することから、対象となる事業（アクション）について、申請を行う。また来年度開始する「東京2020応援プログラム」について、市町村等へ周知し申請を促す。	県民生活・文化課
113	beyond2020プログラムの申請	国と東京都が一体となって推進する文化プログラムである beyond2020 プログラムについて、関係機関等へ周知し、様々な団体が実施する文化事業が認定を受けることで、本県での多様な文化芸術活動の展開を促進する。	beyond2020 プログラムを周知するとともに、ガイドラインに沿ったものを県が認定主体となり、認定する体制を整備する。	県民生活・文化課
114	文化施設における多言語表記・無料公衆無線LAN	文化施設における多言語表記、無料公衆無線 LAN の整備を進め、「ちば文化」の魅力を発信する。	文化施設における多言語表記等の整備を促進する。	県民生活・文化課 文化財課

⑱観光等様々な分野との連携による文化資源の活用

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
115	日本遺産魅力発信推進事業 (No. 79 再掲)	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。今年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や普及啓発などの事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信、人材育成事業（パンフレットの作成、プロモーションビデオの制作など） ・普及啓発事業（シンポジウムの開催など） ・公開活用のための整備に係る事業（案内板の設置） 	文化財課

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
116	「グリーン・ブルーツーリズム in ちば」推進事業	都市と農山漁村の交流を促進し、地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。	・直売所フェア 2016 の開催 ・農林水産物直内所の生産者や農林漁業体験施設の関係者等を対象とした研修会の開催 等	流通販売課
117	「千葉の海」丸ごと満喫事業	都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。 (食文化と水産物を地域文化とし、文化資源を活用して、地域活性化を図る。)	県内の水産物直売所等を紹介する「新鮮！ちばの海の幸！水産物直売所マップ」を作成し、水産物直売所、道の駅、JRの首都圏主要駅、高速パーキング等で配布を行う。	水産課
118	先端技術と芸術を融合させた新たな文化の紹介	ちば文化の多様性を発信するため、プロジェクトマップ等の先端技術と既存の文化芸術を融合させ、新たな文化芸術を創造し、発信する。	実施に向け、情報収集や検討を行う。	県民生活・文化課

⑩文化プログラム関連イベントの実施により得られた資源の活用

No.	事業名	事業概要	平成 28 年度実施計画	担当部署名
119	ネットワークの構築	文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	団体、施設、関係機関等と連携しながら、ネットワークの構築を進める。	県民生活・文化課
120	ちば文化交流ボックス (No. 7 再掲)	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	ちば文化交流ボックス等を活用し、文化プログラムに関連する情報発信・情報共有を進める。	県民生活・文化課